

# シラチャ校だより

泰日協会学校  
シラチャ校  
2018. 12. 21



## 「自分との約束」

泰日協会学校シラチャ校 校長 久光靖男

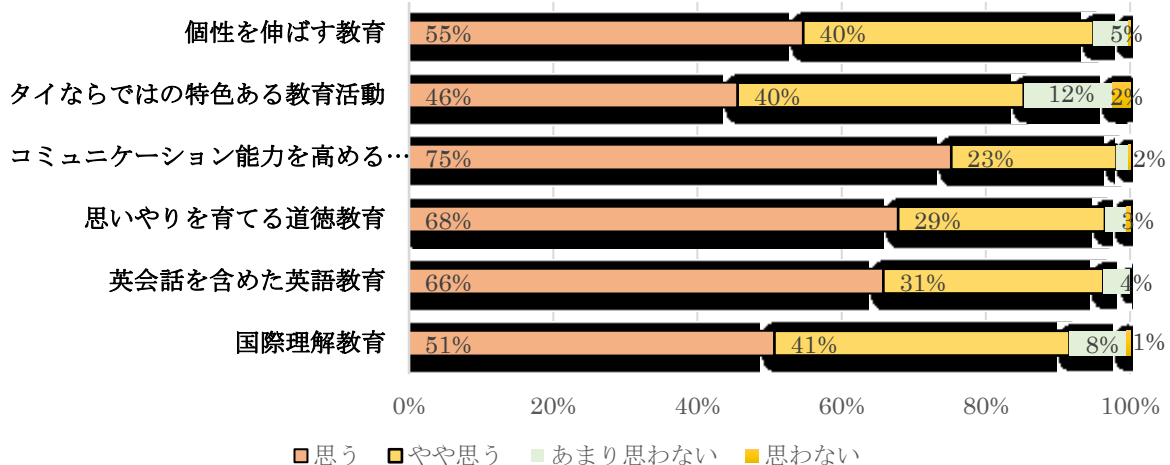
季節の変化を感じることが少ないシラチャにあってもこの季節の朝夕の風の涼しさは、はっきり感じるができます。タイの方も長袖を着て「ノーム」(寒い)という話題が聞かれるようになりました。さて明日からいよいよ冬休みです。17日間という短い期間ですが、クリスマスやお正月といったイベントがありいろいろ予定を立てられていることと思います。慌ただしく過ぎるこの時期だからこそ出来る家族の会話を心がけてはいかがでしょうか。

- 1 お子さんの普段の生活の中で特にいいなあと思うこと。
- 2 お子さんと同じ時期にどんなことをして、どんなことを考えていたのか。
- 3 「おかげさま」の気持ち。

家族でめあてを立てるときは、普段やっている事から考えてみるといいと思います。ただし言われたからするというのではなく、自分で決めることがとても大切です。宿題をしっかりやりたいという気持ちがあるのであれば、「朝8時にはイスに座ろう」などです。自分で決めること、自分との約束を自分で守ることはとても大きな自信になります。「出来る事からやってみる。続けてみる。」そんな冬休みにしてほしいと思っています。



### 学校で力を入れてほしいこと



学校アンケートにご協力いただきありがとうございます。学校への期待についてはこのアンケート以外に文面でもいただいております。どの内容についても高い関心をもっていただいているのが分かります。特に「コミュニケーション」「思いやり」「英会話」については、約70%の方が「思う」と答え、その他の項目についても90%以上の方が肯定的な解答になっています。タイ国での滞在経験も含め日本国内では得られないことを学ぶ「貴重な機会」というプラスのイメージで捉えられているとともに、グローバル人材として必要な資質をどのように保護者の方が捉えているのかが伝わって来ます。アンケートを職員で共有すると共に、次年度の計画に生かしていきたいと思っています。

## タイの教育

タイの義務教育期間は日本と同じで小学校6年と中学校3年の計9年間です。また、基盤の教育である小1から高3までの6年・3年・3年の計12年間は無償の教育となっております。その12年をタイでは四つの区分に分け、それぞれ第1ステージ（小1～小3）、第2ステージ（小4～小6）、第3ステージ（中1～中3）、第4ステージ（高1～高3）と呼んでいます。

学校の一年は前期と後期に分けられ2学期制となっています。大学付属の学校を除いて普通の学校の1学期は5月の中旬から9月の下旬まで、2学期は11月の初めから3月の中旬まで、それぞれおよそ20週間授業をしています。

教育省の学習指導要領による教育課程は、下記のように定められています。

学習内容/活動	学習時間数									
	小学校						中学校			高校
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高校1～3
<b>● 基本教科</b>										
タイ語	200	200	200	160	160	160	120	120	120	240
数学	200	200	200	160	160	160	120	120	120	240
理科	80	80	80	80	80	80	120	120	120	240
社会、宗教及び文化	80	80	80	80	80	80	120	120	120	240
保健及び体育	80	80	80	80	80	80	80	80	80	120
芸術 (美術、音楽、伝統芸能)	80	80	80	80	80	80	80	80	80	120
技術・家庭	40	40	40	80	80	80	80	80	80	120
外国語	40	40	40	80	80	80	120	120	120	240
小計	800	800	800	800	800	800	840	840	840	1,560
<b>● ガイダンス・児童生徒団体活動・社会公益活動</b>	120	120	120	120	120	120	120	120	120	360
<b>● 選択教科・選択活動</b>	年間：80 以内						年間：240 以内			1,680 以上
合計	年間：1,000 以内						年間：1,200 以内			3年間： 3,600 以上

タイの学校で学ぶ基本教科は8つの教科に別れて定められており、それ以外は、ガイダンス・児童生徒団体活動・社会公益活動および選択教科・選択活動が教育課程として設定されています。

ガイダンスとは、児童生徒が自分のことをよく知るための指導や進路指導のことです。児童生徒団体活動とは、小1～中3までを対象としたボーイスカウト・ガールスカウト・赤十字生活動や、男子高校を対象とした軍事訓練実習などです。また、クラブ活動 委員会活動は児童生徒団体活動にはいりません。社会公益活動は学校によって様々な活動を行っています。

選択教科・選択活動に関しては各学校の目指すところによって各学校が独自の科目を設定し、選択科目として児童生徒に選ばせ、学習させています。

(文責：ディレクター ニオン アガニットプロム)

## 楽しみにしている

### 読み聞かせボランティアさんの「読み聞かせ」

シラチャ校では小1から小3を対象に、一ヶ月に一回、朝の読書の時間に、読み聞かせボランティアの方々に本の「読み聞かせ」をしていただいています。ボランティアさんが、7時55分から8時10分までの15分間に読める本を2～3冊読んでくださり、それを子どもたちはとても楽しみにしています。

読んでくださる本のジャンルは様々で、ボランティアさんが学年に合った本を選んでくださっているのだと思いますが、その読み聞かせの中で、最近私が興味をもった本を2冊紹介したいと思います。

1冊目は、「火星にいった3人の宇宙飛行士」ウンベルト・エーコ著(六耀社2015.11)です。「アメリカ人とロシア人と中国人の宇宙飛行士3人が、火星に一番乗りするぞと意気込みますが、同時に到着してしまいます。互いに信用できない3人は、いがみあいますが、その3人の前に火星人が現れます。その恐ろしい姿におののいた3人は、お互いを信じて、力を合わせて火星人と戦うことにします。しかし悪い奴に違いないと思った火星人が、実は小鳥のヒナを世話するような、優しい心の持ち主なのです。その様子を見た3人は反省し、最後は仲良くハッピーエンド」という、たいせつなことは、「おたがいに、分かりあうということ」であるということをお話です。

この本の中で私が面白いと思ったのは、火星に一番乗りを目指すのは、アメリカ・ロシアという、これまで世界中で大きな影響力をもってきたと言われる2つの大国だけではなく、中国がそこに入っていることです。2015年という、比較的新しく出版された本なので、時代の移り変わりがそこに描かれていると感じました。



もう1冊は、「3びきのかわいいオオカミ」ユージーン・トリビザス著(富山房1994.5)です。皆さんがよく知っている「三匹のこぶた」とは違って、ここでは、三匹の「気のいい狼さんたち」が建てている家を、「悪いブタさん」が壊してしまうという話になっています。広い世界に出ていくことになった3匹のかわいいオオカミに対してお母さんは、「でも、悪いおおブタにはきをつけるのよ。」と言います。今までのオオカミというイメージが覆され、この本でのブタは弱い者いじめばかりし、とても憎々しげに描かれています。でも最後はハッピーエンドで終わり、ホッとします。

この本では、登場する動物のイメージが今までの本に描かれていたのと逆の設定となっていますので、私は子どもたちと一緒に、「この結末はどうなるんだろう？」と興味を湧き、読み聞かせを聞きながら、子どもたちと一緒にわくわくできました。「この本の話しか知らなくて、オリジナルの『3匹のこぶた』の話を知らない子どもたちは、オオカミやブタのイメージが、私たちとは違うものになるのかな？」ということも思いました。

読み聞かせボランティアさんがしてくださる「読み聞かせ」で、私が今まで知らなかった多くの本を知ることができました。楽しみにしているのは子どもたちだけではありません。また3学期も、いろんな本を紹介していただけることを楽しみにしています。

(文責：濱田 玲英子)